

湯前町広報誌[広報ゆのまえ]

yunomae

08

2015.AUG
Vol.410

栄光はその先に――。

ホットルポ①
各地で漫画教室

ホットルポ②
中体連・郡体結果

クローズ・アップ
湯前球友城南大会 V

戦後70周年特集

メッセージ

未来への伝言

未来への伝言

昭和20年8月6日と9日に、
 広島と長崎に原爆が落とされ、
 たくさんの命が失われました。
 同年8月15日に終わりを告げた
 第2次世界大戦からこととして
 70年がたとうとしています。
 今、私たちはどんなことを知らなければ
 ならないのでしょうか。
 今回は戦争と平和について
 考えてみませんか？



【当時の人吉海軍航空隊の写真】
 1.物資を格納する倉庫 2.基地施設の内部と思われる写真 3.練習機でのグライダー訓練
 4~6.人吉球磨の豊富な松を使って松根油を製造。若い兵隊たちが作業に汗を流した 人吉海軍航空隊基地跡検証プロジェクト提供(錦町)

6000人が門をくぐる

私たちが住んでいる人吉球磨にはかつて海軍の航空隊があり、たくさんの若者たちが飛行機の操縦や整備の訓練をしていました。隊の名前は人吉海軍航空隊。高原(たかんばん)と呼ばれる球磨郡錦町の西北から相良村の南の地域にありました。海軍航空兵予科練習生(予科練生)として入隊した10代の若者たちは当時、愛する国や家族を守りたいという志だけでなく、大空への夢やあこがれを持っていました。

昭和18年11月から航空隊・飛行場の建設工事が始まりました。建設には人吉球磨の住民や学生たちも動員されました。翌年2月1日に第18連合航空隊・人吉海軍航空隊が開隊。前期と後期に分けてトータル6カ月の訓練が行われました。戦況が悪化したため、7期目には3カ月に短縮されましたが、訓練は8期行われ、解隊されるまでに約6000人の予科練生が卒業しました。訓練は国語、数学などを

学ぶ基礎教育、整備や兵器のことを学ぶ実習教育、体育などを学ぶ教練がありました。移動はすべて駆け足。制裁や罰則は厳しく、連帯責任でした。

教育よりも防衛協力

1期目は整備兵を育成しましたが、2期目からは航空消耗戦で不足していたパイロットの育成を目指しました。昭和20年3月には教育よりも本土の防衛協力が優先されるようになり、人吉海軍航空隊は第22連合航空隊に編入、同年7月10日に航空隊は解隊されました。

隊名は人吉航空基地施設に変わり、基地は本土決戦に備えて「中型練習機・軽爆撃機ヲ以て作戦する施設」に指定されました。教育の場だった基地では特攻隊の訓練が行われるようになりました。戦争末期の日本には戦闘機が少なく、基地では「赤とんぼ」と呼ばれる2枚羽根の練習機に爆弾を積んで特攻する練習をしました。

飛び交う戦闘機、生活は貧相に

航空隊基地内の工場では簡易兵器だけでなく燃料不足を補うために、ガソリンの代わりになる松根油※(しょうこんゆ)を作っていました。人吉球磨の豊富な木材を使って爆弾を運ぶための木箱や特攻用ボートを作ったという話もあります。

昭和20年3月18日にはアメリカ軍の戦闘機23機が高原飛行場を爆撃。5月14日には人吉市内と球磨郡各地が機銃掃射され、軍人や住民14人が亡くなりました。7月31日にはあさぎり町上も爆撃されました。

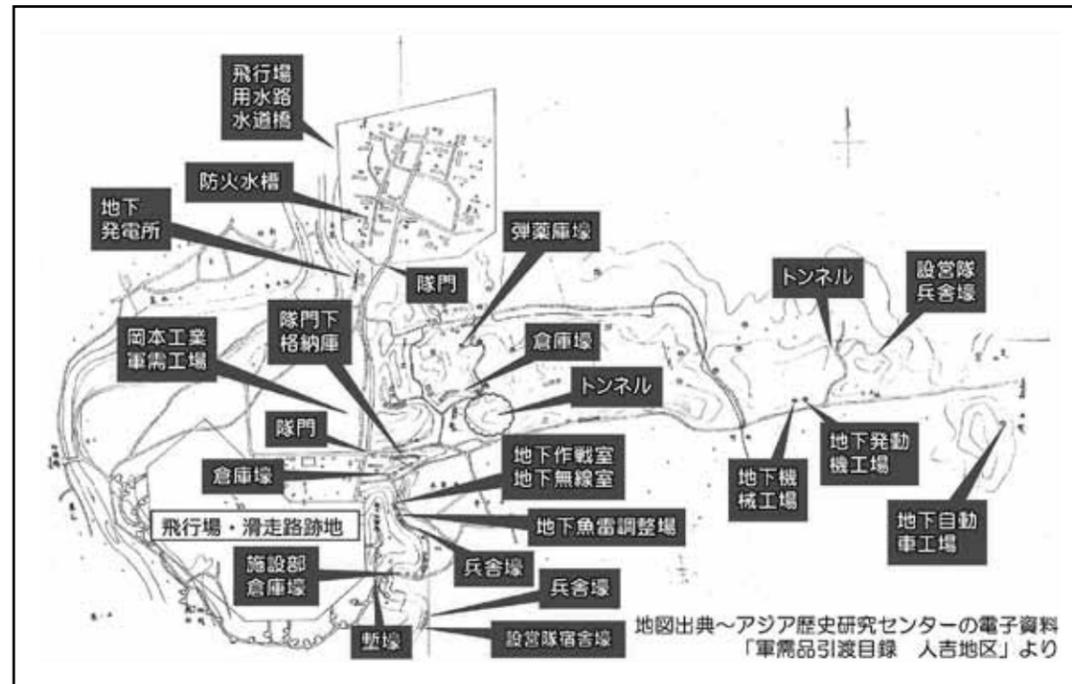
昭和20年半ばごろから沖縄戦の敗色が濃くなると、国民はさらに貧相な生活が強いられた。配給もひどいものになりました。中には肥料に使っていた大豆油の絞りがす、牛馬のえさにしていたぬかなどもありました。ぬかを野草やサツマイモのツルなどと混ぜて塩味だけですすった人もいたそうです。

※マツの切り株を乾留してできる油状の液体。



1.当時の隊門。左側番小屋の前には小銃を持つ番兵がいた
2.高く深く掘られた由留木賀茂神社横の魚雷調整場
3.人吉農芸学園の入口に残る隊門跡
4.壁がコンクリートで作られている地下施設
5.滑走路横にまっすぐ作られた道路。左側の農地に滑走路があった

今も残る人吉海軍航空隊基地の施設跡



高原に残っている人吉海軍航空隊基地の施設跡。これだけの地下施設が残っているのは県内でもめずらしい(人吉球磨海軍航空隊を顕彰する有志の会提供)

今も残る、70年前の記憶。

高原の大地にあった人吉海軍航空隊基地。70年前にはたくさんの軍事施設が作られました。皆さんは知っていますか？今も戦争遺跡は残っているのです。

戦争の悲惨さを語る遺跡を地域の資源として活かす

多くの地下軍事施設が残る

基地には兵舎や作戦室がある居住区、飛行場区、工場や倉庫(トンネル)区があり、航空隊の隊門は居住区と飛行場の入り口に今も残っています。隊門は玄関口の両側に建てられ、高さ2.2m、幅1.5mのコンクリート製で、球磨川の玉石が使われています。

滑走路は長さ1350m、幅50m、厚さ20cmのコンクリートで作られています。今は農地になっていますが、滑走路に沿ってまっすぐな道が作られています。

二人の行動が歴史を明かす

以前人吉農芸学院に勤めていた金山充さん。昨年10月から人吉球磨の戦争遺跡を調べています。農芸学院の敷地内にある地下発電所や民家にある機体格納庫を見て当時の技術や規模の大きさに驚いたことがきっかけです。

金山さんは農芸学院に勤める福田晃市さんと一緒に調査を始めました。「防空壕の位置が描かれた古い地図を見つけたのですが、どこを示しているのかまでは分かりませんでした」。二人は近所のくわしい住民に聞き取りをしたり、林の中を歩き回ったりして、地道に調べていきました。

防空壕は普段人が入らない場所。中にはマムシやコウモリ、虫がいます。金山さんは汗だくで水たまりやぬかるむ足場の悪い場所も調査。見つけた戦争遺跡は一つ一つ資料に書き込んでいきました。二人は調査した人吉球磨の戦争



人吉球磨海軍航空隊を顕彰する有志の会
金山 充さん (64 = 下村)

Profile
かなやま みつる
昨年10月から人吉農芸学園に勤める福田晃市さんとともに人吉球磨の戦争の歴史を調査。漫画やDVDをボランティアで作り、平和を伝える活動をしている。

日本各地に大きな被害を与えたアメリカ軍の爆撃。戦争末期になると日本軍は爆撃されても戦闘や兵器の生産ができるよう、地下に基地や工場を作りしました。人吉海軍基地では専門教育を受けた軍人が集まる「設営隊」が、昭和20年3月から地下施設を作り始めました。作られた地下施設は合計で約25万平方メートル。谷から谷をショートカットするトンネルも多く掘られました。由留木賀茂神社(錦町木上)の駐車場にある魚雷調整場跡や、その北にある地下無線室、作戦室など、今でもたくさんの地下施設が残っています。中には手作業だけでなく、機械を使っ

の歴史や施設を分かりやすく漫画や映像にしてまとめています。

「この地域にはこれだけたくさんの戦争遺跡があります。市町村を巻き込んで資源として活かそうと考えました」。航空隊跡地がある錦町へ依頼をしました。現在、錦町では職員が中心になってプロジェクトチームを作り、活動しています。ことし6月には民間が主体になって、探索ツアーが開かれました。「参加者は人吉球磨にたくさん戦争遺跡があることに驚いていました。貴重な戦争遺跡は歴史教育だけでなく、地域の活性化にもつながります」。

伝えたい思い

「残っている遺跡はこの地で起きていた歴史を語っています。かつて地下施設を作るために幼い子どもたちが悪戦苦闘しながら作業していました。戦争を知らない世代にも人吉球磨で起きていた戦争の歴史を知ってもらい、平和の大切さを考えてほしいと思います」。



「現在の俺の戦友たち」

まんが美術館には良輔さんの手紙が4枚残されています。この手紙では戦友の似顔絵を描いて、現地の様子を美代さんに紹介。満州では日本の戦果が聞こえてこないことや妻や娘を心配する父親としての気持ちが描かれています。

だ立たんかい。言葉は何かハツキリと云へる様になるのはいつごろだ。早く見たい。近ごろ特に見たくて仕方がないよ。かなはぬ願ひとは知りながらね。心はいはんやで。手紙の最後の文面には父親として、生まれればかりの娘に会いたいという気持ちが書かれています。

思いを支えた旗

平成25年の10月に美代さんがまんが美術館に「祈武運長久那須良輔君」と書かれた1枚の旗を寄贈しました。良輔さんが召集を受けて戦地に向かうとき、漫画家仲間から送られたものです。横山隆一、近藤日出造、清水昆など、当時の有名な漫画家の名前と似顔絵が日の丸の旗に描かれています。旗に込められた仲間たちの思い。良輔さんは旗をサラシに包んで、守りの代わりに肌身離さず身につけていたといえます。「必ず生きて家族の元へ帰る」という良輔さんの強い思いはこの旗に支えられていました。



2年前に良輔さんの妻・美代さんがまんが美術館に寄贈した武運を祈る旗。良輔さんはお守りとして戦地で肌身離さず持っていた

湯前が語る戦争の歴史

風刺漫画家
那須 良輔



Profile
なす りょうすけ
大正2年、湯前町下染田区生まれ。生涯を政治風刺一筋に生きた漫画家。昭和8年に漫画家デビューをし、終戦までに3回の召集を受ける。平成元年に永眠(享年75歳)。平成4年、偉業をたたえて湯前まんが美術館が完成。

漫画家たちからのエール 「必ず生きて家族の元へ」

紙とペンで戦う戦士

湯前は漫画の原画展示やイベントでたくさんファンが集まるまちです。町には生涯にわたって風刺漫画を描き続けた那須良輔さんの記念館(湯前まんが美術館)が建てられています。

昭和8年に「日本少年」(実業之日本社)に原稿が採用され、良輔さんは漫画家デビュー。「のんきな殿様」「わが輩はノミである」などで売れっ子の漫画家になります。良輔さんは昭和34年に発行された「日本週報」という雑誌

で戦時中のことを語っています。昭和12年、24歳の時に兵隊として1回目の召集を受けますが、病気で召集は取り止やめに。病気が治り、昭和13年に実業之日本社から派遣されて、報道班員として戦地へ向かいました。

その後、良輔さんは2回の召集を受けます。「絵が描けるならば連隊本部へ行け」。上司から命令された良輔さんの役目は武器を持って戦うことではなく、ポスターやビラを描くことでした。絵のうまさを見込まれた良輔さんは軍司令部で伝単(相手国の戦争

意欲を失わせるためのピラを作ること)の仕事をしました。

戦地からのメッセージ

まんが美術館には戦争をテーマにした良輔さんの作品があります。なかには良輔さんが戦地から妻・美代さんに送った手紙も残されています。

「現在の俺の戦友たち」と題された手紙。自身3度目の任地、満洲での戦友を美代さんに紹介し、兵舎から眺める風景を絵で伝えています。

「亮子(良輔さんの娘)はま

浜川に眠る防空壕跡

「かつてこの地でも戦争は起きていた」。人吉海軍航空隊基地跡だけでなく、湯前にも当時のメッセージが残っています。

浜川地区の大王神社うらの林の中には戦時中に作られた防空壕があります。山に沿って10の穴があり、当時は近くの住民も防空壕作りに汗を流していました。防空壕の入り口は四角に削られていて、高さは約2メートル。日型と呼ばれる形で、縦方向だけでなく横にも穴が掘ってあり、2つの穴が中をつながっています。奥行きは広いもので縦、横とも約20メートルあります。中には横に2カ所掘ってあったり、中で折れ曲がったりしているめずらしい形のものも残っています。

終戦後は防空壕の入り口に扉をつけ、農業用の倉庫として使われていました。現在は入れないように塞いであるところもあります。



1. 戦後、農業用倉庫として使われていた防空壕
2. 入口は四角に削られている
3. 中は縦と横2方向に穴が掘ってある



橋の上での機銃掃射 少しでも動いていたら死んでいた

永畑 梅則さん (86 =下城)

Profile

ながはた うめのり

昭和19年5月、神奈川県藤沢海軍電測学校に入学。電波兵器の教育を受けて、大分県の佐伯海軍航空隊へ。昭和20年1月藤沢海軍航空隊に転属し、航空電波兵器の高等予科練習生として海軍学校に入学。



命を落とした人、残された家族 戦争は必ず誰かが不幸になる

湯前町遺族会長

恒松 高績さん (71 =馬場)

Profile

つねまつ たかつぐ

平成22年から会長を務める。遺族会主催で毎年5月に戦没者慰霊祭を開催。

戦地へ向かった若者たちの顔写真が遺族会館に飾られている



戦艦に被害は無かったものの永畑さんは当時の恐怖を今でも覚えています。しばらくして、基地でも空襲がありました。地上の電測当番をしていた永畑さんは基地に残っていましたが、身の危険を感じて防空壕へと向かいました。「基地と防空壕の間には橋があり、仲間が防空壕から『こっちへ来い』と手を招きました。橋を渡ろうとしたとき、操縦士の顔が見えるくらい近くにグラマン(アメリカ軍の戦闘機)がいて、機銃掃射を受けました。足がすくんで動けず、弾丸が顔の真横を通り過ぎていきました。少しでも動いていたら死んでいたでしょう」。永畑さんは奇跡的に生き延びることができました。

終戦後、永畑さんは愛知県名古屋市の河和航空隊で解散になり、9月に故郷へ帰りました。「河和から汽車で帰るとき、広島を通ったら一面何もありませんでした。戦争末期の住民は白米を食べることができず、カボチャやサツマイモがあればまだ良い方でした。本当に戦争だけはあってはな

ました。「銃弾が足元数箇所のところに飛んできて土煙があたりました。すぐに木の下に隠れました」。8月15日の終戦後も訓練は続き、西さんは8月26日に湯前に帰り着きました。「つらいこともたくさん経験しましたが、その経験があったからこそ平和やふるさとの大切さを知っています」。西さんは当時書いた手帳を広げて話しました。

「殺された人、殺した人、愛する肉親を失った家族。戦争は必ず誰かが不幸になります。絶対にしてはいけません」。恒松さんは家族の悲しみを思いながら話しました。

遺族会長の恒松高績さんも幼いころに父を戦争で失いました。恒松さんは「生まれて間もないときのことでした。当時は分かりませんでした。一番つらい時期を味わった家族の苦しみを思うと何とも言えない気持ちになります」と話します。

全国で193万人が亡くなった第2次世界大戦。湯前から多くの人々が戦地へ向かいました。その中で335人が愛する家族や国を守ろうと、若くして命を落としました。町には戦争で家族を亡くした人を支援する遺族会があり、現在97人の会員がいます。

残された家族の苦しみ

「永畑さんは当時を思いだしながら話しました。



訓練の内容、隊での生活がくわしく書かれている西さんの思い出の手帳

西 岩人さん (85 =馬場)

Profile

にし いわと

15歳で試験に合格し、飛行兵になる。昭和20年7月に奈良県天理市にあった奈良海軍航空隊に配属。隊での生活や当時の思い出を日記に書き残している。

二度と湯前の景色を 見ることができないと 覚悟して飛び出した



愛する故郷を離れる

当時の食糧難で実家の農業を継ぐとしていた西さん。「若者は国のために働く」という当時の風潮から試験を受け、難関の試験に合格。飛行兵になるために1カ月間グライダーの訓練を受けて7月27日に奈良海軍航空隊に入隊しました。「湯前駅で見送りを受け、汽車に乗ったとき、2度と湯前の景色は見られなと思

九死に一生を得る

入隊すると西さんは分隊長の食事の世話や日記をつける分隊長係を命じられました。入隊当日の夜、西さんは上官に呼び出されます。「精神注入棒と呼ばれる硬い棒で何度も叩かれました。『気合いを入れるため』という理不尽な理由でしたが、終わると必ずお礼を言わなければなりませんでした。とても痛かったです」。

永畑梅則さんは15歳のとき試験に合格し、敵の潜水艦や戦闘機をソナーで探知する勉強(電測)をしていました。「家が裕福ではなかったのに、給料がもらえる軍に志願しました。電測学校には400人ほどが入学し、訓練は3ヶ月ほどでした」。

基地には飛行機はなく、手旗信号や鉄砲の訓練をしていました。ある日、訓練中にアメリカ軍の戦闘機が飛んできて、西さんは機銃掃射を受け

その後、永畑さんは大分県の佐伯海軍航空隊に配属されました。初めて戦艦に乗り、物資の補給に広島県の呉市へ向かったときのことです。夜に空襲があり、爆発で大きな揺れと音が艦内に響きました。

爆撃、機銃掃射に危機一髪 戦時中の思いと残された家族の痛み

日本は各地でアメリカ軍から攻撃を受けました。湯前にも当時少年兵だった人や愛する家族を失った人がいます。戦争は物だけでなく、人の心にも大きな傷を残しました。

70年後も悲しみは消えず

毎年5月、湯前町の戦死した人を思い、戦争の悲しみを忘れないために御大師堂忠魂碑の前で慰霊祭が開かれています。遺族や関係者らが焼香をし、数珠を持って手を合わせています。顔を上げず、ずっと手を合わせ続ける人やハンカチで目を覆い隠す人。70年たった今でも残された家族の悲しみは消えていません。



焼香をする遺族ら



遺族の悲しみを話す恒松会長

平和への思い

戦後70年がたち、当時を語ることが
できる人は少なくなっています。
戦争を知り、平和を願ってきた体験
者たちの思いを受け継ごうとしてい
る人たちが湯前にはいます。

なすなの会
園田 篤子さん (58 = 下里)

Profile
そのだ あつこ
読み聞かせグループ「なすなの会」会
長。平成21年から中央公民館や湯
前小などで平和学習会を開いている。



戦後70年間 守られてきた平和^も 受け継ぐときは今^も。



記憶を風化させず、身近なところで 語り継いでいきたい

「戦争を体験した人が少なくなってきた、家族や学校でも平和の話をする機会が少なくなってきたよね」。

なすなの会の平和学習が始まったのは会員同士の会話がきっかけでした。園田さんは「私が小学生のころは夏休みに登校日があつたりして、平和学習の機会がたくさんありました。私たちにできることを考えたとき、語り継ぐことしかできないと思いました」と話します。平和学習では熊本大空襲を体験した豊永禧子^{とよながきこ}さんの体験やアメリカ本土を攻撃するために作られた風船爆弾のドキュメンタリー映画、元特攻隊員の体験談など、当時の状況を参加者に伝えました。

園田さんの母は女学生のように風船爆弾を作らされてきました。映画や絵本でその体験を伝えようと動いた人たちがいました。「映画は両国から見た戦争を伝えようとア

メリカの人が作りました。子どもたちへ伝えようと絵本にしてくれたのは地元八女市の教師です。今、世代や国を超えてたくさんの方が次の世代に語り継ごうとしています」。

なすなの会は夏休みに小学校でも読み聞かせをしています。園田さんは「身近なところで伝えていきたいと思っています。戦争を知らない若い人にも平和のことを考えもらおうきっかけにしてみました」と話していました。



母の体験談を描いた絵本が園田さんの元に
届けられた

『私たちにできること』

湯前小6年生の誓い

「ものがあふれている時代だからこそ、一つ一つのものを大切にすること。好き嫌いをせず、食べ物に感謝をすること。差別やいじめをせずに、一人一人の命を大切にすること。一日一日を大切に一生懸命に生きること。これが私たちにできることです」。

湯前小学校では毎年、6年生が長崎へ修学旅行に行き、長崎原爆資料館を見学します。児童たちは平和のためにできることを考え、保護者に発表しました。



修学旅行で感じたことを保護者に発表
した児童たち

たくさん悲劇を生んだ戦争。時が流れて、戦争を体験した人も少なくなりました。これから生まれてくる子どもたちはどれだけ戦争体験者の生の声を聞くことができるのでしょうか。歴史の教科書だけでは戦争の悲しみを伝えることはできません。多くの命が消え、何年たっても消えない傷跡。遊ぶことも、普通の勉強をすることもできなかった若者たち。痛みを知り、絶対に戦争をしないと誓った人たちは70年間、平和を守り続けてきました。私たちは守られてきた平和を受け継がなければなりません。この地域で起こった戦争の歴史を知り、次の世代へ伝えるために。まずは身近な人と話してみませんか？

特集 未来への伝言(元)

参考資料：煌硝の高原、子どもと歩く戦争遺跡Ⅲ
人吉球磨は秘密基地 30分てわかる！
人吉海軍航空隊基地

NO.1

漫画の教室開催



生徒に風刺漫画の描き方を教える小川助教

6月23日～30日に湯前小・中学校と町役場で漫画教室が開かれ、参加者は熊本市にある崇城大学芸術学部デザイン学科の小川剛助教から風刺漫画や似顔絵の描き方を楽しく学びました。

町の情報発信や教育に漫画を取り入れようと町ICT（情報通信技術）利活用推進協議会が主催しています。

1. 自分の将来の夢を描く児童たち
2. インターネットを使って添削
3. 少しずつ似せていき、良い感じに
4. 積極的に質問をする児童



名刺に似顔絵を入れて漫画の町をアピール

「読む」だけじゃない 漫画のおもしろい

湯前中1年生31人は6月23、

24、30日に同校で風刺漫画に挑戦しました。23日にはグループごとに分かれ、新聞からキーワードを探してアイデアを出し合いました。小川助教は「風刺漫画は見た人が共感できるもの。少し大きめに、伝えたいところだけを残して、クスッと笑えるユーモアを入れる。一つでもできれば良い風刺漫画になる」と生徒に説明しました。24日の授業で生徒は18歳に引き下げられた選挙権や、火山の噴火、振り込め詐欺など話題性のあるテーマで漫画を描いていきました。30日にはインターネットのビデオ電話を使って崇城大学と湯前中をつないだオンライン教室を開催。助教が生徒の漫画を一つずつ添削していきました。助教は「風刺漫画はとも難しいが、みんなが細かいところまで描いて、質の高い作品ばかり

だった。湯前に住んでいる人は漫画と接する機会が多い。

読む以外にもたくさん漫画を楽しんでほしい」と評価しました。選挙権をテーマに赤ちゃんが投票している絵を描いた迫田拓巳さん（同校1年）中里2）は「ムラができないように色を塗ることが難しかったが助教のアドバイスを受けて、自分なりに良い作品になった」と話していました。湯前小4年生23人は6月23日に同校で「夢を叶えた将来の自分」をテーマに漫画を描きました。児童は野球選手や動物園の飼育員、お医者さんや八百屋さんなどの絵を描いていました。小川助教は「うまくなるためにはものを良く見てたくさん描くことが大切。自分の絵を描くことで将来のイメージを固めてほしい」と

児童にアドバイスしました。

児童は友達にポーズをとってもらい、顔のパーツや腕の位置を観察。バランスの取れた上手な絵を描くことができました。車を修理する絵を描いた高木萌華さん（同校4年）上村）は「車を描くのが難しかったけれど、（助教に）立体の描き方を教えてもらって、自分のイメージに近づいた」と話していました。6月23日に町役場で似顔絵教室が開かれ、町職員8人が参加しました。名刺に似顔絵を入れて「漫画の町」をアピールしようと、助教のアドバイスを受けるが似顔絵に挑戦。「似ているパーツだけを残して、たくさん描く」というアドバイスを受けて、職員は少しずつ感覚をつかんでいきました。似顔絵はスカナーで取り込んで名刺に使われました。



驚異の6連覇を達成した空手道

NO.3

第65回球磨郡民体育祭速報第2弾

空手道6連覇達成、 弓道もV2

第65回球磨郡民体育祭は5月20日～7月19日まで開かれ、郡内各町村の選手たちが24競技で熱戦を繰り広げました。空手道は驚異の6連覇を達成。弓道も2連覇を達成するなど各種目で湯前勢の活躍が光りました。第70回熊本県民体育祭は9月12、13日に熊本市などを中心に開かれます。

競技結果 ※入賞関係

- ◆ゲートボール・女子
 - ① 湯前町
 - ② 山江村
 - ③ 五木村
- ◆ソフトテニス
 - ① 水上村
 - ② 錦町
 - ③ 湯前町・あさぎり町
- ◆四半的弓道
 - ① 山江村
 - ② あさぎり町
 - ③ 湯前町
- ◆軟式野球
 - ① あさぎり町
 - ② 相良村
 - ③ 湯前町・あさぎり町
- ◆弓道
 - ① 湯前町
 - ② あさぎり町
 - ③ 多良木町
- ◆銃剣道
 - ① 相良村
 - ② 湯前町
 - ③ 球磨村
- ◆空手道
 - ① 湯前町
 - ② 相良村
 - ③ 錦町・水上村



力投を続けた荒川修一選手



弓道 向江富士夫選手



ソフトテニス 豊永浩平選手

NO.2

柔道、個人戦3人が制す

平成27年度球磨人吉中体連大会

平成27年度球磨人吉中体連夏季大会は6月13日～7月8日、郡市内の各会場で開かれ、湯前中学校の選手が奮闘しました。



ことしも実力を見つけた柔道部(左:糟谷選手)



チームワークで人吉第二中を制し、3位をつかんだバレー部



男子団体3位のソフトテニス部(渋谷優斗選手)

毎年好成績を残している柔道部は、個人戦で3人が優勝、3人が2位入賞を果たしました。空手では清川直紀選手が個人形で準優勝、個人組手で3位、ソフトテニス男子団体やバレーが3位につけるなど、それぞれ全力を出して戦っていました。

競技結果 ※太字は県大会出場

- ◆柔道
 - ▽男子・団体
 - ③ 湯前中
 - ▽男子・個人戦
 - 50キ級
 - ① 糟谷 義之輔(3年)
 - 60キ級
 - ② 稲葉 友博(3年)
 - ▽女子・団体
 - ② 湯前中
 - ▽女子・個人戦
 - 52キ級
 - ① 竹崎 杏(3年)
 - 57キ級
 - ① 山崎 莉歩(2年)
 - ② 吉田 梨音(2年)
- ◆ソフトテニス
 - ▽男子・団体戦
 - ③ 湯前中
 - ▽男子・個人
 - ベスト8
 - 石原峻・赤池宗一郎ペア、溝辺皇希・財部薫ペア
 - ▽女子・個人
 - ベスト16
 - 渋谷百香、野田菜衣ペア、今田桃花、高瀬朋華ペア
- ◆バレー
 - ③ 湯前中
- ◆空手
 - ▽個人・形
 - ② 清川 直紀(2年)
 - ▽個人・組手
 - ③ 清川 直紀
- ◆野球
 - 1 回戦 湯前中2-4 錦中
- ◆水泳
 - ▽代表男子50リバ平泳ぎ
 - ③ 福田 慎之介(3年)
 - ▽2年男子50リ自由形
 - ③ 山崎 壮一朗(2年)
 - ▽1年男子
 - 200リメドレーリレー
 - ▽湯前中
 - ② 湯前中
 - ▽代表女子50リ自由形
 - ② 那須 花(3年)
 - ▽1年女子
 - 200リメドレーリレー
 - ▽湯前中
 - ② 湯前中
 - ▽1年女子
 - 200リフリーメドレー
 - ▽湯前中
 - ③ 湯前中
 - ▽代表女子
 - 400リフリーメドレー

CLOSE UP

クローズ・アップ
湯前人の躍動

湯前 球友

BASEBALL CLUB YUNOMAE KYUYU

城南大会制す



優勝を果たしガッツポーズをするメンバーたち

TEAM MEMBER

椎葉恭介, 東 雄峰, 澁谷秀明, 東 宏聡, 神崎 涼, 澁谷将人, 那須康隆, 瀬谷憲功, 倉住祐貴, 堤田匡詞, 姫野宏太, 倉住尚貴, 椎葉浩樹, 中釜由晴, 野田翔平, 田山裕貴, 洲上 駿, 川原拓也, 椎屋周生, 椎葉隼也, 那須鈴佳 (マネージャー)

城南大会 球友の成績

- 1 回戦 ▶ 湯前球友 5 - 2 汐見工務店 (宇城市)
- 準々決勝 ▶ 湯前球友 8 - 6 甲佐町役場
- 準決勝 ▶ 湯前球友 8 - 1 天草消防
- 決 勝 ▶ 湯前球友 3 - 0 シーベタBBC (宇土市)

椎葉、倉住投手が 完封リレー

第10回読売旗争奪城南地区宇城市社会人軟式野球大会が6月28日に宇城市松橋町の岡岳グラウンドで決勝が行われ、湯前球友がシーベタBBC (宇土市) を3-0で破り、優勝を果たしました。球友は全国軟式野球連盟に登録されている湯前の野球チームでメンバーは現在20人。20代中盤の若い選手が多く、打撃力、機動力で攻めるチーム。大会には県内15チームが出場しました。21

日の予選では汐見工務店を (宇城市) を5-2、甲佐町役場を8-6で下して決勝トーナメントへ進出。準決勝の天草消防戦でも打線が爆発し、8点を取る猛攻で大勝しました。決勝のシーベタBBC戦では椎葉浩樹投手 (24 下里) と倉住祐貴投手 (27 下里) が好投。ピンチをしのいで相手に得点を許さず、完封リレー。3-0で優勝を決めました。椎葉恭介監督 (38 下染田) は「県で優勝できる力を持っているチーム。気持ちの強さとけがをしているエース堤田匡詞投手の復活が県の頂点を制すカギ」と話しました。

練習は週に1、2回ほど。仕事を終え、早くグラウンドに着いた人からウォーミングアップをしたり、キャッチボールをしたりして練習を始めます。雨の日には体育館を借りて練習。選手たちは強いチームに勝つために、限られた時間を大切にしています。東雄峰主将 (27 上里2) は「湯前出身者たちが野球を通して一生懸命に頑張っていることを町民の皆さんにも知ってもらえれば。県内の強豪といわれる企業のチームに勝てるように練習していきたい。全国大会で監督を胴上げすることが目標」と話してくれました。



鶴田町政3期目の始業点検

5億1226万円を追加補正

平成27年度第3回定例会は6月12日～18日までの会期で開催され、鶴田正巳町長の所信表明・一般質問・承認・補正予算・条例改正などを審議しました。最終日に追加提案された元職員の不祥事の責任を取るとした町長、副町長、教育長の給与を削減する議案を可決し、閉会しました。

一般質問

元町職員の公金着服について

◆味岡 恭議員

答弁 白川総務課長

着服した金額はことし4月8日の段階で、1780万8千円。本人と親族から1050万円が返還されたが、700万円ほどが未返済。本人と家族名義の不動産に対して、抵当権設定登記を済ませた。売買が成立すれば代金は町スポーツ災害共済会へ入る。現在、共済会長名で損害賠償請求訴訟を準備中。本人だけでなく、歴代の共済会関係者を相手に加えることで協議されている。できれば本人とその関係者での完済を希望する。

答弁 山中教育長

町民の皆さま、関係各位に對して大変申し訳なく、深くお詫びを申し上げます。身をもって辞職することも責任の取り方の一つだと考える。

社会体育環境の整備について

◆椎葉 弘樹議員

質問 テニスコートの改修について

答弁 堤田教育課長

提案されたスポーツ振興くじは補助率が3分の2あり、今後計画の中で検討させていただきます。

答弁 鶴田町長

テニスコートに限らず、弓道場など様々な要望が出ている。教育課と協議をしながら今後の課題として受け止めさせていただきます。

消防団活動の課題について

質問 消防ポンプ操法大会の隔年開催について

答弁 白川総務課長

上球磨4カ町村で毎年開催しているのは本町のみ。ポンプ操法で反復して身につけることで初期消火活動がスムーズにできる。団員自身の怪我防止や高い操法技術、意識高揚維持がねらい。

質問 団員減少による消防団の再編について

答弁 白川総務課長

地元消防団や地区住民の思いがあり、長い歴史をかけて守られてきたこと。地区の意思を尊重し、理解を得て決めることではないかと思っております。

(不祥事の対応について)

日本遺産認定について

◆金子 光喜議員

質問 今後の取り組みについて

答弁 堤田教育課長

観光用の各文化財を紹介する冊子や看板などの作成と合わせて、町独自の観光案内人の養成を考えている。オリピックなどの開催を控え、英語版の冊子も作りたい。認定を活用し地域を振興していくために協議会が設立された。

安全な町づくりについて

質問 危険空き家の対応について

答弁 白川総務課長

空き家対策特別措置法が施行され、特定空き家に認定さ

れると立ち入り調査や撤去、修繕の指導、催告命令ができるようになった。今後は該当するかを検討する予定。昨年度行った空き家等調査と利活用等検討事業のなかで、調査した176件中、7件が倒壊の危険がある空き家だった。(カメラによる防犯対策について)

所信表明について

◆倉本 豊議員

質問 3期目の町政への思いと決意の内容について

答弁 鶴田町長

農業の振興 農地を農地として残していく、継続的な施策を考えると地域の皆さまの合意と協力をいただきながら進めていく。湯前町版の中山間地域的方式をどうアレンジしながら、どう活用していくかということになる。

子育て支援

しっかりとした子育てを支援していく。子どもたちがこの地域に住んでいただけなければ政策的になかなか続い

条例改正

いかないうちかという思い。担当者、地域の皆さまとの協議の中で組み立てていかなければならない。今後50年、通年のスパンで考えなければと思っている。

○球磨郡公立多良木病院企業団規約の一部変更について(厚生文教委員会付託)

○湯前町後継者対策に関する条例の一部を改正する条例 ※助成対象者の年齢制限の30歳以下を45歳以下に、支給額新規学卒30万、そのほか10万を一律30万円に変更(賛成全員)

○湯前町乳幼児等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例 ※対象者を小学6年生から中学3年生に引き上げ。(賛成全員)

○湯前町長等の給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例について

※7、8月の給与を削減。町長50割、副町長30割、教育長40割減額。(賛成全員)

一般会計補正予算 ※主なもの

	▼歳出
人吉球磨スマートインターチェンジ整備促進協議会負担金	73万3千円
空き家情報サイト構築委託料	150万円
漫画美術館周辺公共Wi-Fi環境構築委託料	180万円
地域おこし推進事業費(地域おこし協力隊関係)	790万円
林業木材産業振興施設等整備事業補助金(2経営体)	1594万9千円
グリーンパレス合宿棟トイレ改修工事	229万8千円
田上住宅改修工事	2649万8千円
地域優良賃貸住宅建設工事(2棟分)	3329万8千円
学校給食共同調理場建設工事	2億8799万8千円
人吉球磨日本遺産活用協議会負担金	50万円
B&G海洋センターミーティングルーム・ロビー改修工事	404万6千円
B&G地域コミュニティ再生モデル事業備品購入費	798万4千円
町長・副町長給与削減	△113万4千円
子ども医療費助成金	100万円

※9月～3月、中学3年生までの引き上げ分



※地域おこし協力隊

国が地方のヒト・モノ・カネを支援する政策。都市部から人材を募集して地域に移り住み、地域の活性化やまちづくりに参画してもらう制度。一人あたり人件費200万円、活動費200万円が最大3年間支援される。本町では3人の採用を予定。

編集後記

鶴田町政3期目のスタートは暗いニュースから始まりました。せっかくの日本遺産認定もかすんでしまいがちですが、明るい話題は子どもたちの頑張ります。西村君、野田君のインターハイ出場もですが、高校野球での球磨工業、多良木高校の活躍は地域全体を盛り上げてくれました。広報が発行されるころには結果が出ています。ところが、強豪校を次々と倒す姿は人吉球磨地域の可能性を大きく感じさせてくれました。

◆編集委員

椎葉弘樹・金子光喜

MAJORなど大人気漫画の原画など 約250点を展示 「満田拓也の世界」好評開催中



バレーボールに青春をかける高校生の奮闘を描いた「健太やります!」、メジャーリーグの舞台を夢見る少年の成長を描き、アニメ化もされた「MAJOR (メジャー)」、ボクシングを題材にした「BUYUDEN 武勇伝」など、スポーツ漫画の第一人者として漫画界をリードしてきた満田拓也。作品はスポーツのすばらしさ、楽しさだけではなく、家族や友人、ライバルたちとのつながりがていねいに描かれ、人間味あふれるドラマ性からたくさんの読者の称賛を得てきました。今回は代表作の原画だけでなく、満田さんが高校時代に描いたスケッチや執筆に使用した道具なども展示しています。ことしの夏はまんが美術館で満田拓也の世界を感じてみませんか?

展示内容

「健太やります!」「MAJOR」「BUYUDEN 武勇伝」「MAJOR2nd」

などの原画約140点、デジタル原画約30点、パネル約70点のほか、満田さんが使った道具も展示

日時

平成27年 **9月13日(日)**まで 会期中無休

開館時間

午前9時30分～午後5時00分

観覧料

高校生以上300円 小中学生100円 幼児 無料

私たちのまちの 明るい未来を目指そう。

平成27年度湯前町職員を募集します



■職種と採用予定人数

職 種	採用予定数
一般事務(高等学校卒業程度) ^{※1}	4人程度
管理栄養士(資格免許職) ^{※2}	1人程度

※1 昭和55年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた人

※2 昭和55年4月2日以降に生まれ、管理栄養士の資格を持っている人(平成28年3月までに取得見込みの人も含む)

■受付期間

7月27日(月)～8月14日(金)

午前8時30分～午後5時 ※ただし土・日を除く
郵送は、8月14日(金)までの消印があるものを受け付けます。

■試験の日時と場所

試 験	日 時	試験会場
第1次試験	9月20日(日) 午前8時30分	県立南稜高等学校 (あさぎり町)
第2次試験	10月下旬予定	第1次合格者に通知 ※面接による人物試験

第1次試験

程 度	区 分	出題内容	
一般行政職	教養試験(高校卒業程度) 作文試験	社会、人文、自然、文書理解、判断推理、数的推理、資料解釈	
	適性検査	事務適性、一般性格診断	
管理栄養士	教養試験(高校卒業程度) 作文試験	社会、人文、自然、文書理解、判断推理、数的推理、資料解釈	
	専門試験	管理栄養士	社会生活と健康、人体の構造と機能、食品と衛生、栄養と健康、栄養の指導と給食の運営
	適性検査		一般性格診断

すべて択一式の試験

■問い合わせ先

湯前町役場総務課総務係

〒868-0621 熊本県球磨郡湯前町1989番地1
TEL (0966) 43-4111 FAX (0966) 43-3013
E-Mail: soumu@town.yunomae.lg.jp

■申込用紙の請求

申込用紙は湯前町役場総務課に用意しています。郵便で請求するときは、封筒の表に「湯前町職員採用試験申込請求」と朱書きして、140円切手を貼った返信用封筒を同封して、湯前町役場総務課へ請求してください。返信用の封筒には必ず宛先を書いてください。

申込用紙と試験の案内は湯前町のホームページ(<http://www.town.yunomae.lg.jp/>)からもダウンロードできます。

■申し込み手続き

記入を済ませた申込用紙を申込先に郵送または持参してください。

郵送するときは、表に「湯前町職員採用試験申込」と朱書きした封筒に入れて、必ず簡易書留郵便で送ってください。受験票の返信用に82円切手を貼った封筒(宛先、郵便番号を明記)を中に入れてください。

大人もおいしく食べられる
美味しいレシピ110品を紹介



離乳期・幼児期から大人まで、アレルギー対応メニューはこの一冊で安心。卵なし、牛乳なし、小麦粉なしでも、家族でいっしょの工夫がいっぱい。スーパーで手に入る代替食品で！離乳食と幼児食のレシピ110品。&食物アレルギーの最新情報と基礎知識。

アレルギーっ子のごはんやおやつー離乳期・幼児期から大人までアレルギー対応メニューはこの一冊で安心
伊藤浩明、榎村 春江(監修) 主婦の友社

日本人のすべてが読むべき
『人間教科書』



ずっしりと手ごたえのあるおいしいミカンを育てたいー熊本県の芦北町田浦で、持続可能な農業を目指して有機農業に取り組む女性が、その魅力や様々な人との出会い、子育て、いま伝えたいことをテーマに語る。

ミカン山に吹く風
鶴田ほと(著)
熊本日日新聞社

中央公民館図書室

読書のススメ



○平日8:30~17:00
○土日・祭日9:30~17:00
※貸出期間は2週間、一人5冊まで。
〈お問い合わせ〉中央公民館
(TEL 0966-43-2050)

1カ月のできごと

MONTHLY TOPICS

7月1日(水)~7日(火)

願いごと何にしよう？ 各地で七夕まつり



笹に短冊を飾る園児と利用者(湯前保育園七夕)

湯前、慈光両保育園やあゆみの会(地内豊子会長)などで七夕まつりがあり、参加者は短冊に願いごとを書いて七夕を楽しみました。7月5日に開かれたあゆみの会の七夕祭りでは知的・身体・精神障害者やその家族、ボランティアスタッフなど約150人が参加。地内会長が「毎年たくさんの方の参加や支援をいただいています。今日は楽しい一日にしましょう」とあいさつ。参加者は歌や楽器演奏、絵本の読み聞かせ、ダンス、ゲームなどで楽しんでいました。

湯前保育園の年長児24人は7月1日に高齢者福祉センター湯愛で利用者と会話をしながら楽しそうに短冊を書いていました。慈光保育園では7月7日に七夕まつりがありました。代表の園児が自分の願いごとをみんなの前で立派に発表していました。

7月6日(月)

行動できる準備を 湯前中学校で救急救命講習



消防署員に心肺蘇生法を学ぶ生徒

湯前中学校の救急救命講習は7月6日に同校体育館で行われ、2、3年生66人が心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の使い方を学びました。講習は災害が起きやすい梅雨の時期に行われ、講師として上球磨消防署員8人が生徒に指導しました。湯前中では一般の住民が受ける3時間講習を受講。生徒たちは人形を使って、胸骨圧迫や人工呼吸、AEDの使い方、これらを組み合わせた救助の流れを確認しました。みんなで数を数えたり、消防署員が手を叩いたりして一定のリズムで胸骨を圧迫できるように訓練していました。参加した今田桃花さん(同校3年下染田)は「1年前に習ったことを確認することができた。いつでも行動できるように準備をしていきたい」と話していました。

7月14日(火)

絵を見て喜んでもらいたい 犬童徹さんが湯楽里に油絵を寄贈



油絵を湯楽里に寄贈した犬童さん(右)

本町中里1区出身の犬童徹さん(73)が7月14日、ゆのま温泉湯楽里を訪れ、油絵「雪の市房山」を寄贈しました。犬童さんは昭和16年に本町で生まれ、人吉高校、東京芸術大学美術学部を卒業、画家として数々の受賞歴もついています。今は兵庫県に在住し、大阪教育大学教育学部の名誉教授、二紀会委員を務めています。今回の寄贈は同級生の黒木喜巳男さんから声をかけられたことがきっかけ。犬童さんは、幼少のころの湯前での思い出を話しながら、寄贈した絵の説明をしました。雪が降っている市房山のほとり、優雅に飛んでいるコサギ。独特の色づかいで、犬童さんの世界感を見ることが出来ます。犬童さんは「絵を飾ってもらい、一人でも多くの町民に喜んでもらえたらうれしいです」と話しています。

「実際に行ける」絶景が満載



絶景案内人・詩歩が厳選！47都道府県を網羅。誰も知らない日本が見つかる。アクセスや観光情報、体験談など旅行ガイド付き。絶景ベストシーズンカレンダーを収録。

死ぬまでに行きたい！
世界の絶景 日本編
詩歩(著) ミオブックス

いのちをつなぐ家族の仕事をつづった ドキュメンタリー

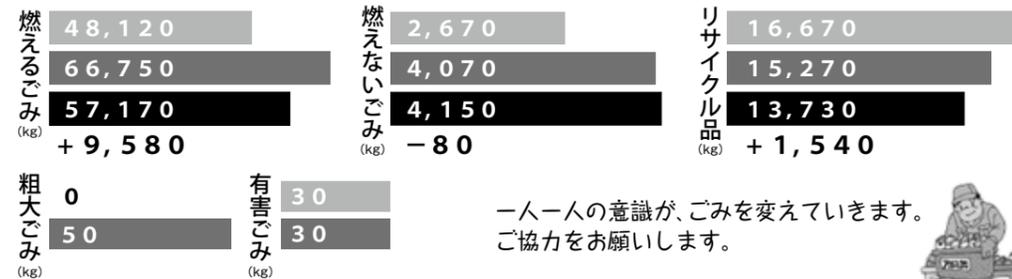


大阪・貝塚市の北出精肉店では代々、牛の肥育から屠畜、精肉までを営んできた。牛は屠畜・解体され、肉や太鼓となって生まれ変わる。2011年秋、精肉店での屠畜・解体は幕を閉じた。その最後の仕事は、はじまる。

うちは精肉店
本橋成一 農山漁村文化協会

7月の ごみ情報

6月末人口:4,183人



「夏の節電・省エネ」 にご協力を！

夏本番。これから厳しい暑さが予想されます。夏は消費電力が多くなりがちです。節電でエコライフを心がけましょう。

リサイクルステーションからのお願い！

リサイクルは、「きれいなもの」が基本です。汚い物、不燃物は持ち込まないよう、きちんと分別をお願いします！中身の残ったスプレー缶、カセットボンベ、使い捨てライターがごみに出され、ごみ収集車やごみ処理施設で、火災が発生しています。必ずガス抜きをしてください。

●節電はいつすればいい？
7月~9月の平日は冷房需要が増え、消費する電力が大きくなります。節電を意識しながら、特に日中の節電を心がけましょう。

●家庭でできる節電対策
・室温28℃を心がける・使わない照明は消す
・冷蔵庫の設定温度を中にし、食品をつめ込みすぎないなど

*節電・省エネは、電気代の節約になります。省エネ家電への買い換え、LED照明への交換も有効です。
*無理のない節電をお願いします。

※8月の不燃物収集は
5日と19日です。(第1・第3水曜日)
※お盆期
13日(木)、14日(金)は通常どおりです。

保健師だより

ことしも夏を元気に過ごすために!! ～熱中症にご用心～

熱中症は気温の高い日、外で作業するときだけではなく!

- ジメジメした日も、体が発汗せず、体温調節しにくくなります。
- 部屋の中でも室温が高くなったり、湿度が上がると、熱中症になります。
- 「昨日まで涼しかったのに、今日は急に暑いな～」という日は、体が暑さに慣れていないので、体温調節がうまくできません。(体が暑さに慣れるには数日かかります)



熱中症を予防するために

- 日傘や帽子を使い、涼しい服装を心がけましょう。
- 水分補給をしっかりと。※喉が渇く前に水を飲む習慣をつけましょう。
- 外では積極的に日陰に入り、休憩はこまめにとりましょう。
- 室内で過ごすときも、風通しを良くしたり、エアコンで調節しましょう。

熱中症対策
していますか?

「湯前町地域ケア会議」に参加しているケアマネージャー、看護師や介護士、保健師などが、2地区で熱中症予防を説明しました



ところで、「湯前町地域ケア会議」って何ですか?

▶毎月、保健センターにいろんな施設や事業所の職員が集まり、話し合っている会議のことです。

【例えば…】

- 湯前町にどんな介護サービスがあったら良いか?
 - どんな支援を行ったら本人や家族にとって望ましいのか?
- …など、内容はたくさんあります。

会議室で話すだけでなく、実際に湯前町の元気な高齢者の皆さんに会いに行こう!という企画が生まれ、老人会の健康相談事業へおじゃまし、熱中症予防をテーマに話をさせていただきました。

熱中症のサインや、「なぜ高齢者が熱中症になりやすいか」など熱心に話を聞いてくださる人が多く、皆さんの健康への高さが印象的でした。体操などで笑いの耐えない時間を過ごし、メンバーも老人会の皆さんからたくさんパワーをもらった一日になりました!!



棒体操は気持ちよか～

日ごろの
体力づくりも
大切です。



最後はみんなで「ワッハッハ!!」

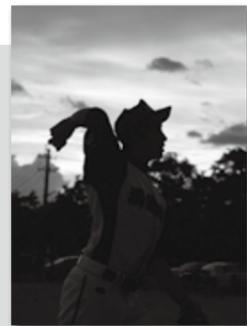
人と会い、
語ったり笑ったり!

環境省の熱中症予防サイト → <http://www.wbgt.env.go.jp>

今日の全国の「暑さ指数」や、熱中症の応急処置方法、暑さ対策など、熱中症についての情報が満載です!ぜひ、ご活用ください。

編集後記

editorial note



【今月の表紙】

夕暮れのグラウンドに人の姿。湯前球友のメンバーが仕事を終え、キャッチボールをしています。少ない人数、限られた時間の中で集中して練習をするメンバー。努力の先には栄光が待っていました。

▼私が小学2年生のとき「祖父母から戦争の話聞いてくる」という宿題が出ました。私は台所で祖母に話を聞きました。祖母がどんなことを話してくれたのかは良く覚えていませんが、とてもつらい時代だったのだなと感じたことは今でも覚えています。その数年後、祖母は天国へと旅立ちました。特集を組んでみて、あらためて家族から話が聞けることのありがたさが分かりました。

「ばあちゃん、ありがとう。」

(宏)

個人会員、支部復活OK! 入ってみらんね、婦人会に

婦人会だより No.31

湯前町地域婦人会
会長 橋田 實子

6/1 町防災会議に出席

梅雨の大雨、災害、台風などに備えて10の関係団体から大切な話を聞きました。

6/17 エッグアート講習会



支部長会でグース(がちょう)の卵のからを使って、中に小さな電気が灯るエッグアートの講習会をしました。節電やクリスマスの役に立つかも?世界に一つだけのミニライトです。

7/15 支部長会 & 救急救命講習会



支部長、社協職員、民生委員、青年団など40人が参加。5人の上球磨消防署員を講師に心肺蘇生法、AEDの使い方、熱中症、でき水などをくわしく聞きました。

7/22 会員の皆さんからいただいたタオル約250枚を町内9カ所(湯前小中学校、社協、福寿荘、慈光、湯前保育園、保健センター、公民館、B&G海洋センター)に配りました。

7/24 県指定モデル事業 「子ども自転車教室」

多良木警察署から新しい自転車の乗り方のルールについて話を聞き、湯前小6年生39人に安全な自転車の乗り方を各コーナーに立って指導しました。



県の助成を受けて、児童に交通安全母の会名前が入った鉛筆と自転車1台を学校にプレゼントしました。

7/10 農芸学院 1日お母さんの会に参加

院生の「お母さんへの思い」の意見発表や交歓演芸会で充実した1日を過ごしました。

7/12 県婦連幹部研修会
(これからの社会教育について)
3世代徳育事業について
防災学習会
・LPガス(ライフラインの確保について)
・日赤奉仕団の活動(ネパール地震の災害対策に参加して)

これからの予定
8月29日 災害ボランティア設置訓練(水上村)
9月13日 敬老会(支部長、地区世話役の皆さんお世話になります)

戸籍の窓
平成27年6月1日
～6月30日届出分

ご結婚おめでとう

♥ 東 英一 (野中田)

♥ 奥村 恵 (沖繩県)

♥ 新堀 一步 (多良木町)

♥ 那須 麻美 (下村)

♥ 黒木 貴道 (多良木町)

♥ 坂本 まゆり (上里)

たんじょう
おめでとつ(うぶごえ)

横野 琉聖 (上村) 保護者名

桑原 陸 崇徳 (下村)

税所 明美 (浜川)

塩塚 政幸 (瀬戸口)

右田 春子 (田上)

桑原 由美 (野中田)

税所 英臣 (浜川)

香典返し

税所 明美 (浜川)

塩塚 政幸 (瀬戸口)

右田 春子 (田上)

桑原 由美 (野中田)

受け継がれる平和の魂――。



かつて、たくさんの悲しみを生んだ戦争。
湯前にも戦争の跡が残されている。
時代は移り変わり、いつか形はなくなる。
しかし、伝え、受け継ぐ人の思いがある限り、
当時の記憶と平和の魂は受け継がれていく。

風刺漫画家 那須良輔 作

大陸の敗戦 (制作年月日不明)



※ご意見投稿はこちらから

生き活きと輝き、誇れるまちゆのまえ

広報ゆのまえ8月号

TEL 0966-43-4111 FAX 0966-43-3013
URL <http://www.town.yunomae.lg.jp/>

